

2012年8月期 第3四半期業績 および通期見通し

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング
グループ執行役員 CFO

1

CFOの岡崎です。
私から、2012年8月期第3四半期の業績、および
通期の業績見通しについてご説明いたします。

I. 第3四半期決算概要	P3	～	P16
II. 2012年8月期 通期業績予想	P17	～	P19
III. ご参考資料	P20	～	P24

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

(2012年8月期)

国内ユニクロ事業： 株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業： 海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業： セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、
ジュー事業が含まれています。

(2011年8月期)

国内ユニクロ事業： 株式会社ユニクロ(靴事業含む)の数値が表示されています。

海外ユニクロ事業： 海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業： セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、ジュー事業、
キャビン事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

1Q～3Q
9ヶ月累計

売上高 : 7,435億円 (前年同期比 +14.0%)
 営業利益 : 1,193億円 (前年同期比 +14.1%)
 経常利益 : 1,188億円 (前年同期比 +19.2%)
 純利益 : 725億円 (前年同期比 +35.8%)

	1Q～3Q (2011/9～2012/5)			3Q (2012/3～2012/5)			単位: 億円
	9ヶ月 累計	前年 実績	前年 同期比	3ヶ月 実績	前年 実績	前年 同期比	
売上高 (売上比)	7,435 100.0%	6,520 100.0%	+14.0%	2,180 100.0%	1,946 100.0%	+12.0%	
売上総利益 (売上比)	3,839 51.6%	3,391 52.0%	+13.2% ▲0.4p	1,154 53.0%	1,007 51.7%	+14.6% +1.3p	
販管費 (売上比)	2,646 35.6%	2,345 36.0%	+12.8% ▲0.4p	878 40.3%	782 40.2%	+12.4% +0.1p	
営業利益 (売上比)	1,193 16.0%	1,045 16.0%	+14.1% +0.0p	275 12.6%	225 11.6%	+22.5% +1.0p	
経常利益 (売上比)	1,188 16.0%	996 15.3%	+19.2% +0.7p	252 11.6%	220 11.3%	+14.7% +0.3p	
純利益 (売上比)	725 9.8%	534 8.2%	+35.8% +1.6p	147 6.8%	117 6.0%	+25.5% +0.8p	

まず第3四半期9ヶ月累計の連結業績ですが、
 売上高は7,435億円、前年同期比14.0%増、
 営業利益は1,193億円、同14.1%増、
 経常利益は1,188億円、同19.2%増、
 純利益は725億円、同35.8%増となりました。

次のスライドで要因をご説明いたします。

【連結】第3四半期(累計):増収増益の要因

売上高 7,435億円(前年同期比+14.0%、915億円増収)

- ・海外ユニクロ事業 +488億円
- ・グローバルブランド事業+214億円
- ・国内ユニクロ事業 +211億円

売上高総利益率51.6%(前年同期比▲0.4p)

- ・国内ユニクロ事業 ▲0.5p

売上高販管費比率35.6%(前年同期比▲0.4p)

- ・国内ユニクロ事業、ファーストリテイリングで経費削減

営業利益 1,193億円、営業利益率16.0%(前年同期比±0.0p)

経常利益 1,188億円、経常利益率16.0%(前年同期比+0.7p)

- ・為替差損の減少により、営業外収支が前年同期比で43億円改善

純利益 725億円、前年同期比35.8%増

- ・前年同期に会計処理変更に伴う特別損失96億円を計上

まず売上高ですが、7,435億円と前年同期比14.0%増、915億円の増収となりました。その内訳ですが、海外ユニクロ事業が488億円の増収、グローバルブランド事業が214億円の増収、国内ユニクロ事業が211億円の増収となっております。

売上高総利益率は51.6%と、前年同期比0.4ポイント低下いたしました。粗利益率低下の主な要因としては、国内ユニクロ事業の粗利益率が、同0.5ポイント低下したことがあげられます。

売上高販管費比率は35.6%と、前年同期比0.4ポイント低下しております。これは、国内ユニクロ事業とファーストリテイリングで経費が削減できたことによるものです。

これらの結果、営業利益は1,193億円、営業利益率は16.0%と、前年並みの水準となっております。

経常利益につきましては1,188億円、経常利益率は16.0%と、同0.7ポイント上昇しております。経常利益率が改善した要因は、前年同期で計上されていた為替差損45億円が、8億円と大幅に減少したことで、営業外収支が前年同期比43億円改善したことによります。

純利益は725億円、前年同期比35.8%増となりました。純利益が大幅増益となった要因としては、前年同期に計上されていた会計処理変更に伴う特別損失96億円がなくなったためです。

第3四半期グループ事業別実績

単位：億円

		1Q～3Q (2011/9～2012/5)			3Q (2012/3～2012/5)		
		9ヶ月 累計	前年 実績	前年 同期比	3ヶ月 実績	前年 実績	前年 同期比
国内ユニクロ事業	売上高	5,032	4,821	+4.4%	1,386	1,400	▲1.0%
	営業損益 (売上比)	927 18.4%	910 18.9%	+1.8% ▲0.5p	204 14.7%	207 14.8%	▲1.2% ▲0.1p
海外ユニクロ事業	売上高	1,225	736	+66.4%	377	234	+61.1%
	営業損益 (売上比)	136 11.1%	97 13.2%	+40.4% ▲2.1p	21 5.8%	18 7.8%	+19.8% ▲2.0p
グローバルブランド事業	売上高	1,159	944	+22.7%	410	306	+33.8%
	営業損益 (売上比)	134 11.6%	79 8.4%	+68.5% +3.2p	55 13.4%	27 9.1%	+97.2% +4.3p

注：連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

グループ事業別の業績は、こちらのスライドの通りです。

第3四半期累計では国内ユニクロ事業の売上高は5,032億円、営業利益は927億円、海外ユニクロ事業の売上高は1,225億円、営業利益は136億円、グローバルブランド事業の売上高は1,159億円、営業利益は134億円となっております。

第3四半期3ヶ月間では、国内ユニクロ事業は若干の減収減益となりましたが、海外ユニクロ事業は増収増益を達成することができました。また、グローバルブランド事業は、営業利益が前年比でほぼ倍増するなど、大幅な増収増益となっております。

1Q～3Q(累計): 増収増益
3Q(3ヶ月): 減収減益
直近予想比で売上高100億円、営業利益30億円下回る

単位: 億円

	1Q～3Q (2011/9～2012/5)			3Q (2012/3～2012/5)		
	9ヶ月 累計	前年 実績	前年 同期比	3ヶ月 実績	前年 実績	前年 同期比
売上高 (売上比)	5,032 100.0%	4,821 100.0%	+4.4%	1,386 100.0%	1,400 100.0%	▲1.0%
売上総利益 (売上比)	2,449 48.7%	2,372 49.2%	+3.3% ▲0.5p	691 49.9%	677 48.3%	+2.2% +1.5p
販管費 (売上比)	1,522 30.3%	1,461 30.3%	+4.2% +0.0p	487 35.1%	469 33.6%	+3.6% +1.6p
営業利益 (売上比)	927 18.4%	910 18.9%	+1.8% ▲0.5p	204 14.7%	207 14.8%	▲1.2% ▲0.0p

6

ここからは各事業についてご説明いたします。

まず国内ユニクロ事業ですが、第3四半期9ヶ月間は、増収増益となりました。しかし、第3四半期3ヶ月間での売上高は1,386億円、前年同期比1.0%減、営業利益は204億円、同1.2%減と減収減益の結果となっております。

この第3四半期3ヶ月間の業績は、直近予想に比べて、売上高で100億円、営業利益で30億円下回る水準となっております。

詳細については、次のスライドでご説明させていただきます。

3Q (3~5月) 売上高 1,386億円 (前年同期比▲1.0%)

既存店売上高 前年比▲5.4% (客数 ▲7.5%、客単価+2.2%)

- ・春物在庫を絞り込んだことにより、端境期の販売が伸び悩み
- ・3月~5月は気温が低く推移したことにより、夏物商品の動きが鈍かった
- ・客単価上昇: 値引き販売が減少

直営既存店 前年比	2012年8月期					
	上期累計	3月	4月	5月	3Q	6月
売上高	+2.3%	+5.1%	▲6.8%	▲10.3%	▲5.4%	▲7.0%
客数	▲4.9%	+2.4%	▲9.0%	▲11.9%	▲7.5%	▲8.1%
客単価	+7.6%	+2.7%	+2.4%	+1.8%	+2.2%	+1.3%

ユニクロ直営店 2012年5月末 828店舗 (FC店21店舗を除く)

- ・前年同期末比+7店舗

7

第3四半期3ヶ月間の売上高は1,386億円と、前年同期比1.0%の減収でした。これは、既存店売上高が5.4%減となったことによります。

既存店売上高が減収となったのは、春物在庫を絞り込んだことにより、端境期の販売が伸び悩んだこと、また、3月から5月までの3ヶ月間の気温が低く推移したことにより、夏物商品の動きが鈍かったためです。

客単価は2.2%上昇いたしましたが、これは、値引き販売が減少したことが主な要因です。

なお、2012年5月末の直営店舗数は828店舗と、前年同期末比で7店舗の増加になっております。

(3^{3Q}~5月) 売上高総利益率 49.9% (前年同期比+1.5p)

売上高総利益率が前年同期比で上昇した要因

- ・原価率改善による影響 +0.6p
原材料価格の上昇が一巡
円高メリット
- ・売価変更の減少による粗利益率改善 +0.9p
春物の値引き販売が前年同期に比べて大幅に減少

第3四半期3ヶ月間の売上高総利益率は49.9%と、前年同期比1.5ポイント上昇いたしました。これは、ほぼ計画通りの水準となっております。

売上高総利益率が前年同期比で上昇した要因としては、原材料価格上昇の一巡、円高メリットにより原価率が0.6ポイント改善したことがあげられます。また、春物の値引き販売が前年同期に比べて大幅に減少したことで、粗利益率が0.9ポイント改善しております。

3Q (3~5月) 売上高販管費比率 35.1% (前年同期比+1.6p)

直近予想比で16億円下回る

広告費の期ズレ	10億円
経費削減	6億円

対売上高比率は1.6ポイント上昇

広告宣伝費	前年同期比	+0.1 ポイント
人件費	同	▲0.1 ポイント
賃借料	同	+0.3 ポイント
減価償却費	同	+0.2 ポイント
その他経費	同	+0.9 ポイント

9

第3四半期3ヶ月間の売上高販管費比率は35.1%と、前年同期比1.6ポイント上昇しております。

この3ヶ月間の経費は直近予想にくらべて16億円下回りました。
このうち10億円は、広告宣伝費の期ズレによるもの、6億円は物流費などの経費を削減したものです。

売上高が計画に対して100億円下回った結果、広告宣伝費が0.1ポイント、賃借料が0.3ポイント、減価償却費が0.2ポイント、その他経費が0.9ポイント、対売上高比率で上昇しております。

その他経費比率が0.9ポイント上昇した主な要因は、委託費が増えたことによります。
今期から生産部の人員を中国子会社に出向させたことで、国内ユニクロ事業の人件費が減少しておりますが、そのほぼ同額が、委託費として、その他の経費に含まれております。

3Q (3~5月) アジアは好調維持、米国は計画下回る

アジアでは好調な既存店売上高の伸びが続く

中国、台湾、韓国を中心に大量出店が継続

3Q(3ヶ月間)で43店舗を出店、5月末275店舗

アジアは堅調な増益トレンド続くが、米国は赤字幅拡大

単位:億円

		1Q~3Q (2011/9~2012/5)			3Q (2012/3~2012/5)		
		9ヶ月 累計	前年 実績	前年 同期比	3ヶ月 実績	前年 実績	前年 同期比
海外ユニクロ事業	売上高	1,225	736	+66.4%	377	234	+61.1%
	営業損益 (売上比)	136 11.1%	97 13.2%	+40.4% ▲2.1p	21 5.8%	18 7.8%	+19.8% ▲2.0p

10

次に、海外ユニクロ事業ですが、第3四半期3ヶ月間での売上高は377億円、前年同期比61.1%増、営業利益は21億円、同19.8%増と増収増益になりました。

アジアを中心に好調な既存店売上高の伸びが続いていること、中国、台湾、韓国を中心に大量出店が継続していることから、増収増益基調が続いております。

海外ユニクロ事業は、この3ヶ月間で43店舗を出店し、5月末の店舗数は275店舗まで拡大いたしました。

アジアでは堅調な増益トレンドが続いておりますが、米国では第3四半期に赤字幅が拡大したことから、海外ユニクロ全体の営業利益率は前年同期比2.0ポイント低下いたしました。

(3^{3Q}~5月) 各エリアの業績トレンド

- ・中国・香港：既存店売上高の二桁増収続く、22店舗を出店
計画通り増収増益を達成
- ・台湾：10店舗を出店、安定成長軌道に乗る
- ・韓国：7店舗を出店、計画を上回る好調な業績
- ・シンガポール・マレーシア：3店舗出店、計画通り増収増益
- ・タイ：1店舗を出店、好調な売上が続く
- ・米国：34丁目店の不振に加え、ソーホー店はカニバリの影響により減益
下期の赤字幅が拡大
- ・フランス：ほぼ計画通りの業績
- ・英国：2店舗を閉店、計画通りの業績
- ・ロシア：収益性が改善、計画通りの業績

11

次に、各エリアの業績トレンドですが、中国・香港では、既存店売上高の二桁増収が続いていること、22店舗を出店したことで、計画通りの増収増益を達成いたしました。

台湾では、10店舗を出店し、業績は安定成長軌道に乗りつつあります。

韓国では、7店舗を出店し、計画を上回る好調な業績となっております。

シンガポール・マレーシアは、3店舗を出店し、計画通り増収増益を達成しております。

タイ事業は、1店舗を出店し、好調な売上が続いております。

米国では、ニューヨーク34丁目店の不振が続いていることに加え、ソーホー店が予想外のカニバリの影響により減益となり、赤字幅が拡大いたしました。

フランスは、ほぼ計画通りの業績を達成いたしました。

英国では、採算の悪い2店舗閉店し、計画通りの業績となっております

ロシアでも、収益性が改善し、計画通りの業績となっております。



【グローバルブランド事業】第3四半期(3ヶ月)実績

3Q (3~5月) ジュー事業の利益貢献が高まる

ジュー事業：既存店売上高4割増収、計画を上回る業績

セオリー事業：日米共に好調な業績

コントワー・デ・コトニエ事業：計画通り増収増益

プリンセス タム・タム事業：計画を下回り、減収減益

単位：億円

		1Q~3Q (2011/9~2012/5)			3Q (2012/3~2012/5)		
		9ヶ月 累計	前年 実績	前年 同期比	3ヶ月 実績	前年 実績	前年 同期比
グローバルブランド事業	売上高	1,159	944	+22.7%	410	306	+33.8%
	営業損益 (売上比)	134 11.6%	79 8.4%	+68.5% +3.2p	55 13.4%	27 9.1%	+97.2% +4.3p

12

グローバルブランド事業の第3四半期3ヶ月間の売上高は410億円、前年同期比33.8%増、営業利益は55億円、同97.2%増と、計画を上回る業績となっております。

特にジュー事業の利益貢献が、飛躍的に高まっております。詳細については次のスライドでご説明いたします。

セオリー事業につきましては、日米共に好調な業績が続いております。特に日本のセオリー事業では、既存店売上高が二桁増収となり、計画を上回る業績となっております。

コントワー・デ・コトニエ事業は、計画通り、増収増益を達成し、プリンセス タム・タム事業は、計画を下回り、減収減益となっております。

■「ファッションと驚きの低価格」

若者を中心に幅広い年齢層のお客様からの支持が高まる

■売上が急拡大

銀座店オープン効果で既存店売上高は3月から**4割アップ**
「売上高 **500億円**」の目標を突破

■収益性の改善

1店舗当りの売上アップにより、
今期の営業利益は**50億円**を予想

■今後も高い成長が続く

来期の出店数は**60店舗**を目標
2014年を目処に海外への出店を検討中



ジーユー事業の詳細についてご説明します。

「ファッションと驚きの低価格」のブランドとして、若者を中心に幅広い年齢層のお客様からの支持が高まっており、事業としてブレイクの兆しを見せております。

3月にオープンした銀座店の効果により、3月以降の既存店売上高は4割増収となっております。今期の目標「売上高500億円」は、7月1日に突破いたしました。

また、1店舗当りの売上が上昇したことにより、収益性も大幅に改善しております。今期の営業利益は50億円を予想しております。

中期的にもジーユー事業は高成長が期待されております。来期には60店舗の出店を目標として、2014年目処に海外への出店を検討しております。

単位：億円

	2011年5月末	2011年8月末	2012年5月末	前年同期比
総資産	5,360	5,337	5,897	+537
流動資産	3,702	3,699	4,135	+433
固定資産	1,658	1,638	1,762	+104
負債	2,065	2,138	1,989	▲76
純資産	3,294	3,199	3,908	+613

14

次に2012年5月末のバランスシートの説明をいたします。

総資産は5,897億円と、前年同期比537億円増加いたしました。
これは流動資産が、同433億円、固定資産が、同104億円増加したためです。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

【連結】B/Sのポイント(前年同期末比)

現金・預金及び有価証券の増加 +546億円 (2,160億円 ⇒ 2,706億円)

たな卸資産の増加 +39億円 (757億円 ⇒ 796億円)

【国内ユニクロ事業】▲33億円減 (487億円 ⇒ 454億円)

春物在庫の減少 ▲47億円

【海外ユニクロ事業】+61億円増

5月末店舗数が前年同期末比で、グローバル旗艦店3店舗を含め104店舗増加

【グローバルブランド事業】+11億円増

ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大による在庫増

有形固定資産の増加 +135億円 (561億円 ⇒ 696億円)

ユニクロのグローバル旗艦店4店舗、GU銀座店を含みグループ新規出店229店舗

為替予約勘定(負債)の減少 ▲157億円 (458億円 ⇒ 301億円)

【国内ユニクロ事業】 為替予約と期末レートの乖離幅が縮小、
ヘッジ会計適用のため損益への影響なし

15

現金・預金及び有価証券の合計額は2,706億円と、前年同期末比で546億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業をはじめとする各事業の営業キャッシュフローが増加したことによるものです。

たな卸資産は796億円と、前年同期末比39億円増加しております。国内ユニクロ事業の5月末の在庫は454億円と、前年同期末比33億円減少しております。主な要因としては、春物在庫が47億円減少したことによります。

海外ユニクロ事業の在庫は、前年同期末比で61億円増加しております。これは、5月末の店舗数が、前年同期末比でグローバル旗艦店3店舗を含め、104店舗増えたことが要因です。

グローバルブランド事業の在庫は、前年同期末比で11億円増加しております。これは、ジーユー事業、セオリー事業の事業拡大に伴って在庫が増加したためです。

有形固定資産は、前年同期末比で135億円増加しております。これは、ユニクロ事業でニューヨーク、台北、ソウル、銀座のグローバル旗艦店4店舗をオープンしたこと、ジーユー事業で銀座店をオープンしたことを含み、グループ全体の新規出店が229店舗あったことによります。

なお、為替予約勘定は負債側で301億円と、前年同期末比で157億円減少しております。為替予約は国内ユニクロ事業で、長期的なヘッジ方針に従って予約を行っておりますが、保有する為替予約の平均レートと期末レートの乖離幅が縮小したことから、為替予約勘定が減少したものです。なお、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

	2011年8月期 第3四半期累計	2012年8月期 第3四半期累計	コメント	単位: 億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	+610	+1,266		
税金等調整前純利益	+877	+1,176	ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献	
減価償却費、のれんの償却額	+198	+182		
運転資金の増減額	▲92	+40	売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減の合計額	
法人税等の支払い・還付	▲445	▲213		
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲194	▲301		
有形固定資産の取得による支出	▲122	▲208	旗艦店や出店拡大に伴う投資	
無形固定資産の取得による支出	▲62	▲64	システム投資など	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲257	▲283		
配当金の支払額	▲213	▲221	期末配当金1株当り85円、中間配当金130円の支払い	
現金及び現金同等物の増加額	155	685	新規連結に伴う増加額5億円含む	
現金及び現金同等物の期首残高	2,004	2,021		
現金及び現金同等物の期末残高	2,159	2,706		

次に第3四半期累計のキャッシュ・フローについてご説明いたします。

営業活動によるキャッシュ・フローは、ユニクロ事業をはじめとする各事業の利益貢献により1,266億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは301億円の支出となりました。支出の主な内訳としては、有形固定資産の取得で208億円、システム投資などによる無形固定資産の取得で64億円となっております。

なお、第3四半期累計の設備投資額は340億円、内訳としては、国内ユニクロ事業で90億円、海外ユニクロ事業で141億円、グローバルブランド事業で41億円、システム投資で66億円となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、283億円の支出となりました。支出の主な内訳としては、配当金の支払額221億円となっております。

以上の結果、2012年5月末における現金及び現金同等物の期末残高は2,706億円となりました。

売上高:6,215億円(前期比+3.6%)

営業利益:1,045億円(前期比▲1.6%)

単位: 億円

	2011年8月期	2012年8月期		2012年8月期	
	通期実績	直近予想 (4/12時点)	前期比	修正予想 (7/6時点)	前期比
売上高 (売上比)	6,001 100.0%	6,335 100.0%	+5.6%	6,215 100.0%	+3.6%
売上総利益 (売上比)	2,949 49.1%	3,085 48.7%	+4.6% ▲0.4p	3,021 48.6%	+2.4% ▲0.5p
販管費 (売上比)	1,886 31.4%	1,975 31.2%	+4.7% ▲0.2p	1,976 31.8%	+4.7% +0.4p
営業利益 (売上比)	1,062 17.7%	1,110 17.5%	+4.5% ▲0.2p	1,045 16.8%	▲1.6% ▲0.9p

17

ここからは、2012年8月期の通期業績予想についてご説明いたします。

国内ユニクロ事業の通期業績予想につきましては、第3四半期3ヶ月間で、予想に対して下回った売上高100億円、営業利益30億円に加え、6月の実績についても計画を下回ったことから、下期全体では売上高120億円、営業利益65億円を減額修正いたします。

この結果通期の国内ユニクロ事業の売上高は6,215億円、前期比3.6%増、営業利益1,045億円、同1.6%減といたします。

2012年8月期 グループ事業別 業績予想

4月12日発表の通期業績予想からの修正幅

	売上高	営業利益
国内ユニクロ事業	: ▲120億円	▲65億円
海外ユニクロ事業	: ▲30億円	▲10億円
グローバルブランド事業	: +30億円	+10億円

単位: 億円

		2011年8月期		2012年8月期		2012年8月期	
		通期実績	直近予想 (4/12時点)	前期比	修正予想 (7/6時点)	前期比	
国内ユニクロ事業	売上高	6,001	6,335	+5.6%	6,215	+3.6%	
	営業利益	1,062	1,110	+4.5%	1,045	▲1.6%	
	(売上比)	17.7%	17.5%	▲0.2p	16.8%	▲0.9p	
海外ユニクロ事業	売上高	937	1,600	+70.7%	1,570	+67.5%	
	営業利益	89	170	+89.9%	160	+78.7%	
	(売上比)	9.6%	10.6%	+1.0p	10.2%	+0.6p	
グローバルブランド事業	売上高	1,240	1,450	+16.9%	1,480	+19.3%	
	営業利益	87	135	+53.6%	145	+65.0%	
	(売上比)	7.1%	9.3%	+2.2p	9.8%	+2.7p	

注 連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

18

海外ユニクロ事業の通期業績予想につきましては、米国事業の赤字幅の拡大を加味し、売上高で30億円、営業利益で10億円減額修正いたしました。

グローバルブランド事業の業績予想につきましては、ジーユーやセオリーの好調な業績を加味し、売上高で30億円、営業利益で10億円増額修正いたしました。

【連結】2012年8月期 通期業績予想

売上高 : 9,295億円 (前年同期比+13.3%)
営業利益 : 1,315億円 (前年同期比+13.0%)
経常利益 : 1,310億円 (前年同期比+22.3%)
当期純利益 : 790億円 (前年同期比+45.3%)

単位: 億円

	2011年8月期	2012年8月期		2012年8月期	
	通期実績	直近予想 (4/12時点)	前期比	修正予想 (7/6時点)	前期比
売上高 (売上比)	8,203 100.0%	9,415 100.0%	+14.8%	9,295 100.0%	+13.3%
売上総利益 (売上比)	4,257 51.9%	4,835 51.4%	+13.6% ▲0.5p	4,765 51.3%	+11.9% ▲0.6p
販管費 (売上比)	3,094 37.7%	3,455 36.7%	+11.7% ▲1.0p	3,450 37.1%	+11.5% ▲0.6p
営業利益 (売上比)	1,163 14.2%	1,380 14.7%	+18.6% +0.5p	1,315 14.1%	+13.0% ▲0.1p
経常利益 (売上比)	1,070 13.1%	1,375 14.6%	+28.4% +1.5p	1,310 14.1%	+22.3% +1.0p
特別損益	▲132	▲30	-	▲15	-
当期純利益 (売上比)	543 6.6%	815 8.7%	+49.9% +2.1p	790 8.5%	+45.3% +1.9p

19

以上の結果、連結の売上高は、9,295億円、前期比13.3%増、
 営業利益は、1,315億円、同13.0%増、
 経常利益は、1,310億円、同22.3%増、
 当期純利益は、790億円、同45.3%増へ修正いたします。

なお、配当金につきましては、既の実施した1株当中間配当金130円と、期末
 配当金130円をあわせて、年間配当金260円を予想しております。

以上で私からの説明を終わります。

ありがとうございました。

2012年8月期 配当金予想

年間配当金260円を予想

	1株当たり配当金		
	中間	期末	通期
2010年8月期	115円	115円	230円
2011年8月期	95円	85円	180円
2012年8月期(予想)	130円	130円	260円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

	2011年8月期	2012年8月期予想		
	実績	直近予想 (4/12時点)	修正予想 (7/6発表)	前年同期比
売上高	6,001億円	6,335億円	6,215億円	+3.6%
既存店伸び率(通期)	▲6.0%	+1.9%	▲0.4%	-
上期	▲9.9%	+2.3%	+2.3%	-
下期	+0.4%	+1.3%	▲4.2%	-
店舗純増数(通期)	34店舗	9店舗	3店舗	▲31店舗
上期	16店舗	6店舗	6店舗	▲10店舗
下期	18店舗	3店舗	▲3店舗	▲21店舗
売上総利益率(通期)	49.1%	48.7%	48.6%	▲0.5p
上期	49.5%	48.2%	48.2%	▲1.3p
下期	48.6%	49.3%	49.2%	+0.6p
販管費比率(通期)	31.4%	31.2%	31.8%	+0.4%
上期	29.0%	28.4%	28.4%	▲0.6p
下期	34.7%	34.9%	36.6%	+1.9p

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	2011年 8月期 期末	3Q累計 実績(2012/5末)				2012年8月期 通期 予想(2012/8末)			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	1,024	122	22	+100	1,124	138	26	+112	1,136
国内ユニクロ事業：※	843	24	18	+6	849	24	21	+3	846
直営店	822	23	17	+6	828	23	20	+3	825
大型店	129	20	1	+19	148	20	2	+18	147
標準店等	693	3	16	▲13	680	3	18	▲15	678
FC	21	1	1	0	21	1	1	0	21
海外ユニクロ事業：	181	98	4	+94	275	114	5	+109	290
中国(除く香港)	80	55	0	+55	135	63	1	+62	142
香港	15	1	0	+1	16	1	0	+1	16
台湾	1	16	0	+16	17	16	0	+16	17
韓国	62	13	0	+13	75	19	0	+19	81
シンガポール	5	1	0	+1	6	2	0	+2	7
マレーシア	2	3	0	+3	5	3	0	+3	5
タイ	0	4	0	+4	4	4	0	+4	4
フィリピン	0	0	0	0	0	1	0	+1	1
英国	11	2	3	▲1	10	2	3	▲1	10
米国	1	2	0	+2	3	2	0	+2	3
フランス	1	1	0	+1	2	1	0	+1	2
ロシア	3	0	1	▲1	2	0	1	▲1	2
ジーユー事業	148	35	4	+31	179	35	7	+28	176
セオリー事業※	371	23	18	+5	376	23	23	0	371
コントワー・デ・コトニエ事業※	386	9	10	▲1	385	11	11	0	386
プリンセス タム・タム事業※	159	1	5	▲4	155	1	6	▲5	154
総 合 計	2,088	190	59	+131	2,219	208	73	+135	2,223

※ FC店含む



<ご参考資料>

為替レート、設備投資、減価償却費、のれん償却費

適用為替レート

単位：円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2012年8月期 第3四半期(9ヶ月平均)	78.6	106.1	124.8	12.4	7.0
2011年8月期 第3四半期(9ヶ月平均)	82.8	112.8	131.4	12.5	7.3
2012年8月期 通期予想レート(10/12時点)	80.0	105.0	120.0	12.0	7.0
2011年8月期 通期実績(12ヶ月平均)	82.0	113.2	131.1	12.4	7.0

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位：億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2012年8月期 第3四半期実績(9ヶ月累計)	340	136	46
2011年8月期 第3四半期実績(9ヶ月累計)	251	148	49
2012年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	360	160	56
2011年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	339	187	65

※ 2011年8月期の減価償却費実績には、固定資産減価償却の一括償却分40億円を含む

会計処理の変更に伴う特別損失 合計 96億円

物流費一括償却 ▲26億円

物流費・商品倉庫料の計上基準を統一したことに伴い、2010年8月末時点の在庫に含まれる物流費・商品倉庫料の相当額を一括償却

固定資産の減価償却費一括償却 ▲40億円

固定資産の減価償却費計上基準を統一したことに伴う、過去分一括償却

資産除去債務過去分一括償却 ▲29億円

資産除却債務会計基準の適用に伴い、過去分を一括償却

その他の特別損失 合計 38億円

災害による損失 ▲10億円

東日本大震災に伴うもの

減損損失 ▲ 8億円

プリンセス タム・タム事業にかかるのれんの減損 5億円含む

事業整理損失引当金繰入額 ▲ 8億円

靴販売専門店の閉店に伴うもの